

学校のトイレをきれいに



平八重 光輝 議員

子供たちの心身の発達や勉強に影響が出ないよう対処する必要があるのではないか。

学校の改築やトイレ改修を行うときは、既成の型式にとらわれず、子供たちの意見や要望を取り入れ、子供たちに自分たちが考えて作ったという意識を持たせ、掃除を含め大事に使用する心を育てるよう対処すべきではないか。

平八重光輝議員 近年、学校施設の変化は、加速化、多様化している。また、社会の少子化・高齢化など、社会の変化に伴い、生涯学習の場としても地域に開放され、交流の場として期待されている。子供たちにとっては、勉学の場であり、家庭の次に長い時間を過ごす、生活の場となっている。子供たちが心身ともに成長する時期に、長い時間を過ごす学校を快適にする環境づくりが大切である。「生活の場」として重要なトイレが、忘れ去られた場所となっている。

福岡教育長 学校トイレの美化活動は、人間形成につながる教育活動の一環であり、教育面における指導・教育を行っている。壊れたトイレは、PTAの協力をいただき、逐次補修をし、使用に支障をきたさないように努めている。宮之城中学校



学校のトイレ清掃をする生徒たち（宮之城中学校）

では、昨年、「全国掃除に学ぶ会・国分半人の会」の会長を招いて「掃除に学ぶ」と題した講演を、三年生を対象に行った。実際のトイレ掃除を通して

では、昨年、「全国掃除に学ぶ会・国分半人の会」の会長を招いて「掃除に学ぶ」と題した講演を、三年生を対象に行った。実際のトイレ掃除を通して

目標人口二万人の
現状は

平八重議員 平成十三年第四次総合振興計画で、平成二十二年の目標人口を二万人としている。二年経過したが、成果と今後の対応策は。

支援制度を
充実したい

北村町長 本町の人口は、平成十四年三月が一七、六八一一人、平成十五年三月が一七、四八八人で、一九三人の減となっている。定住策として、温泉付団地の造成、企業誘致活動を行っているほか、農林事務所・耕地事務所や土地改良連合会の本町への移転も計画されている。また、延長保育や子育て支援センター等の支援制度を、さらに充実していきたい。